

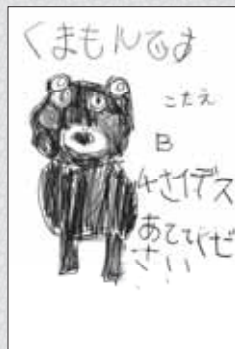


イラストは
たてに描いてね

このコーナーでは、皆さんからの便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。
《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。
《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp
※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。



P.N. ナイト さん



松本 悠里 さん



田端 真也 さん

◀9歳のときに家の庭で撮った一枚。写真を撮られるのが苦手だったため、残っている大切な宝物です



まちへのラブレター

皆さんからの便りをご紹介します。

県 外から御船町へ引越してきて、この2月で丸2年になります。この2年の間に長男が生まれ、今月長女も生まれ、2人家族から4人家族へ。御船町は子どもさんの印象があり、きつと子育てしやすい環境なんだろうね。私も地域の皆さまに助けられながら2人の子どもの育児にがんばりたいと思います。
(辺田見・Mさん)

Mさん、長女さんのご誕生おめでとございます。家族が増えて、毎日がにぎやかでしようね。子育てしやすいという声をよく耳にするようになり、地域で子育てをする環境は昔に比べたら薄れてきていますが、きつと周りには子育てのお手伝いしてくれる人がいるはず。子育てに関してのお問い合わせは役場福祉課児童福祉係まで気軽にお尋ねください。
(広報担当)

い つも最初から最後までじっくり読んでいます。同じ町内に住む実家の父もみふね広報紙のファンで熱心に読んでいます。両親との会話もこの共通の話題のおかげで話がはずみます。編集スタッフの皆さまの努力に感謝します。
(匿名希望さん)

広報を通して、親子の会話を楽しんでいただけているようで、編集スタッフとしてはとてもうれしいお便りでした。広報みふねをきっかけに一人でも多くの人が笑顔になっていただけることが、私たちスタッフの願いでもあります。いつも皆さんの便りに元気づけられています。
(広報担当)



先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもの頃の思い出を話してもらおうコーナーです。

心と体の健康づくり



小坂小学校 末武けい子養護教諭
(熊本市出身・60歳)

私は、熊本市立田山のおもとので育ちました。夕暮れまで木登りをしたり、れんげ畑で遊んでいました。庭には父手作りの水道管の鉄棒があり、腕力だけは男子より優れていました。算数でつまずき自信を失いかけていた6年生のとき、担任の先生が放課後、手作りのプリントで指導してください、分かるようになりました。得意の体育の授業では模範演技をしたことがきっかけで、教師になりたいと思うようになりました。中学時代から看護師を目指し、正看を取得後、養護教諭の道に進みました。子どもたちと接するなかで学び、特に小坂小の子どもたちから元気をもらいました。今年度、小坂小は県健康教育研究推進校の指定を受け、来年度は発表です。いよいよ、教職員最後の年となり、「心と体の健康」を伝える機会となり本望です。生きる力を私たち大人が示したいと思います。

文芸

ひとひねり

短歌

春寒の夜の幻聴異国に置き去りにせし雛の声か

金森 英子

えぐられて姿変りし日本地図竜ひっさげてたちあがりけり

北村やヨイ

赤き蝶飛び交うごとし楓葉はしきり散るなり風吹く午後を

西梅 孝子

新屋で初春祝いうから等と屠蘇くみ交わす八十路の至福

平野 文子

悄々と除夜の鐘鳴る又ひとつ吾生く路の駅を過ぎゆく

藤本 京子

永らえて我は今年の年女同級生らよ如何にみまきむ

正宗タツ子

群れ鳥の朱実ついばむ姿なくいずこの空に餌求むるや

山本志満子

俳句

御船春菊句会 大坪路子選

目の合うて仁王のいかく冴返る

常石 和子

春を待つ心に川のきらめけり

渡辺ケイ子

野を踏めばほとと土の香春隣

守田 律子

仁王像遠巻きに舞ふ春の雪

丹生 則子

ものの芽のほぐれる風の汀かな

黒田 順子

涅槃像拝みわが身を振り返る

さとうともこ

冬の夜深深月は高くあり

渡辺 澄江

肥後狂句

天狗会

太り過ぎ 軽量級じゃ闘えん

増永 笑和

採めばかり 世界不況に負けんごつ

平野 千鶴

命がけ 雪のアルプス踏破する

鳥井 蘭

あっぱれなり 貧乏神も追い出した

江藤 お竜

命がけ あの世迄酒持つて行く

吉田 楽園

時代が違ふ まな板なんか要らっさん

河地 ゆき

命がけ 釣れた魚も暴れよる

鈴木 千春

一般投稿

お雛さま あなたの着物は母手縫い

内村 孝子

紅白の庭の茶山花咲き乱れ花好きたりし亡夫浮かび来る

松岡 文江

六里木をめざして歩く眼がね橋昔をしのぶ日向街道

川部 寅男

おじやめ縫うひと針ごとに想い出す母の着ていしかすりの柄を

其川喜代子

どんど焼き餅の重さに竹折れて笑いの声で餅はこけてる

黒田 昭二

上の畑のたちわけ今年は良く実り来年もまた楽しみに待つ

染田 武茂